

本年度より本格実施

全ての教員のための

# 教員のICT活用実践力検定試験

## ●教員のICT活用実践力検定

2008年度まで実施してきました「情報活用指導力検定」は、すべての教員が習得を目指すべき新しいタイプの検定試験[教員のICT活用実践力検定試験]に生まれ変わりました。今年の夏(7月中旬)から教員養成の大学や教育委員会主催の研修の成果評価など、コンピュータのある施設で団体受験することができます。申し込みは団体単位です。詳細は下記ホームページでご案内します。

## ●実際に情報を処理しながらのe-testing

試験は、文部科学省の先導的教育情報化推進プログラムで開発されているe-testingの方式を採用しています。この方式では、ICTの活用に関する知識だけでなく、実際にデータを処理したりシミュレーションをしたりして、実践的な能力を直接に測ることができます。集合研修の後にその成果を顧みることや、自分の力量を自己評価し、新たな自己研鑽の目標を立てることができます。

### 教育現場に必要なICT活用に関する知識・技術の評価

- ・操作技術や問題解決能力も問う新しい試験方式
- ・教育センターの研修後や学校単位で受験が可能
- ・ABC判定を行ない認定書を発行
- ・教科書(文科省「教育の情報化に関する手引き」等)

ICT活用実践力認定に向けて、教員としての力量を高めましょう



ITCE認定委員会委員長

坂元 昂(東京工業大学名誉教授)



ITCE検定実行委員会委員長  
ICT活用実践力認定委員会委員長

永野和男(聖心女子大学教授)

## ●認定委員会からのメッセージ

ICT(コンピュータやインターネット)は今や特別なものではなく、日常的に利用されています。教育現場で教師がこのすばらしい道具を使いこなせないとしたら、「もったいない」話です。基礎的な考え方やいろいろな事例を知った上で、ICTの教育活用に向け自己研鑽を続けてください。「教育の情報化」のなかですべての教員に要請されているものとして、1)児童生徒の情報活用能力を育成するための情報教育の推進、2)学力向上のための授業におけるICT活用、をあげることができます。文部科学省では、これらの内容を解説した「教育の情報化に関する手引き」をまとめ発表しました。また先導的教育情報化推進プログラムでも、教師のICT活用能力チェックリストに対応させて、その内容を解説した「ICT活用ガイドブック」を作成しています。

e-testingを使った私たちの検定試験は、これらの能力を客観的に診断し自己評価するのに最適な実践型のテストとなるでしょう。問題は決して難しくはありません。全ての教員がBレベル以上の認定を目指してほしいと思っています。

.....**教育情報化コーディネータ認定委員会**...eMail...[itce.office@jnk4.org](mailto:itce.office@jnk4.org)

事務局 **JNK4** 情報ネットワーク教育活用研究協議会 <http://www.jnk4.org/>

後援 **JAPET** 社団法人日本教育工学振興会